

授業科目 NO. 404 基礎看護技術論Ⅳ (看護過程展開技術)

Fundamental Nursing Skills IV (Nursing Process)

授業の形態： 演習

単位数(時間数)： 1単位(30時間)

開講年次・学期： 2年次・前期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 看護過程、問題解決思考、ヘンダーソンの看護論

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標 (GIO)

看護専門職として看護学の知識、技術、実践力を修得するために、看護過程展開技術の基礎的知識が説明できる。また、対象との援助的コミュニケーションの方法を、看護過程展開技術に活用することについて説明できる。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 看護過程の定義、構成要素が説明できる。(②)
- (2) 看護過程における基本的考え方(問題解決思考、クリティカルシンキング、リフレクション)が説明できる。(②)
- (3) ヘンダーソンの看護論に基づく看護過程について説明できる。(②)
 - ① 各人の生活行動を援助するための情報収集として、「基本的看護の構成要素(14項目)」、「基本的欲求に影響を及ぼす常在条件」、「基本的欲求を変容させる病理的状态」が説明できる。
 - ② 収集したデータを確認、分類・解釈し、基本的欲求が充足した状態から未充足の状態を判断することが説明できる。
 - ③ 未充足状態と判定した項目について基本的欲求を充足するために、その原因・誘因を考えながら、体力・意思力・知識の何がどのように不足しているのかを検討することが説明できる。
 - ④ 「基本的欲求」・「基本的欲求を変容させる病理的状态」・「基本的欲求を変容させる病理的状态」の情報を関連させ全体像を記載することについて説明できる。
 - ⑤ 未充足状態と判定した項目について基本的欲求の未充足状態とそれを引き起こす原因・誘因の特定(看護問題の明確化)することが説明できる。

- ⑥ 看護問題の優先順位をつけるねらいや基準について説明できる。
- ⑦ 自立度の向上と基本的欲求の充足を目指した看護目標を設定することが説明できる。
- ⑧ 看護目標を達成するための看護計画を立案することが説明できる。
- ⑨ 立案した計画に基づいて基本的欲求を充足するための生活行動を援助する際に配慮することや留意点が説明できる。
- ⑩ 立案した計画の具体策を実施した看護行為について記録する内容と留意点が説明できる。
- ⑪ 患者の行動の変容と看護目標との比較を通して、目標の達成度を評価することが説明できる。
- ⑫ 患者の行動が変容しない時や新たな欲求が生じた時は、計画を修正することが説明できる。

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	50%
実習成績	%
レポート(課題レポート・事例展開)	50%
授業態度	%
小テスト	0%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

定期試験成績が6割に満たない場合は、再試験の対象とする。

5 教 育 担 当 者

科目責任者：宮永 葵子

教 授	松井 希代子 (基礎看護学)
講 師	宮永 葵子 (基礎看護学)
嘱託講師	杉森 千代子 (基礎看護学)
助 教	釜谷 友紀 (基礎看護学)
助 手	白藤 友紀 (基礎看護学)

6 教育担当者の実務経験

担当教員は、全員が看護師としての実務経験を有している。

7 教科書

- 1) 看護がみえる vol.4 看護過程の展開、MEDIC MEDIA
- 2) 基礎看護技術論 I 基礎看護学 2、医学書院
- 3) ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト、ヌーベルヒロカワ
- 4) 症状別看護過程 第2版、照林社

8 推薦参考書

これまでの看護学の学修に使用した資料や看護過程に必要なテキストをそれぞれ活用します。

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業は看護過程を段階的に教授し、演習は暫時、各自が紙上事例で看護過程を展開するように進めます。
- ・演習では基礎看護学教員がグループを担当して指導に当たります。
- ・事前・事後学修時間は、授業1コマにつき、計90分程度必要です。
- ・看護過程展開に必要な基本的知識の学修、基礎的知識および電子辞書、関連テキストを用いて思考し、記録します。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) レポートについては、授業の中で解説を行います。

11 履修上の注意事項

- 1) 個人作業とグループ作業がありますので、各人が自発的に学びを深めるよう努力し、協調性を持って学修してほしい。
- 2) レポート等の提出物は期日厳守して下さい（評価の対象とします）。

12 オフィスアワー等

質問は随時可。不在時はメールで連絡ください。土日は、返答できないことがあります。

宮永葵子 (aiko3000@kanazawa-med.ac.jp)

第2学年

基礎看護技術論Ⅳ

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月04日(木)	4	講義	ガイダンス、看護過程の定義、看護過程の基本的考え方、ヘンダーソン看護論		基礎看護学	宮永講師
前	2	4月12日(金)	1	講義 演習	関係構築のためのコミュニケーション、情報収集		基礎看護学	宮永講師,松井教授,杉森講師,釜谷助教,白藤助手
前	3	4月12日(金)	2	演習	事例展開(情報の分類と充足・未充足の判断)	グループワーク レポート	基礎看護学	宮永講師,松井教授,杉森講師,釜谷助教,白藤助手
前	4	4月19日(金)	1	講義	事例展開(情報の分類と充足・未充足の判断)		基礎看護学	宮永講師,松井教授,杉森講師,釜谷助教,白藤助手
前	5	4月19日(金)	2	演習	事例展開(アセスメントと全体像)	グループワーク レポート	基礎看護学	宮永講師,松井教授,杉森講師,釜谷助教,白藤助手
前	6	4月26日(金)	1	講義	事例展開(アセスメントと全体像)	グループワーク レポート	基礎看護学	宮永講師,松井教授,杉森講師,釜谷助教,白藤助手
前	7	4月26日(金)	2	演習	事例展開(アセスメントと全体像)	グループワーク レポート	基礎看護学	宮永講師,松井教授,杉森講師,釜谷助教,白藤助手
前	8	5月10日(金)	1	講義 演習	事例展開(未充足項目のアセスメントと看護問題の明確化、看護問題の優先順位)	グループワーク レポート	基礎看護学	宮永講師,松井教授,杉森講師,釜谷助教,白藤助手
前	9	6月07日(金)	1	講義 演習	事例展開(未充足項目のアセスメントと看護問題の明確化、看護問題の優先順位)		基礎看護学	宮永講師,松井教授,杉森講師,釜谷助教,白藤助手
前	10	6月14日(金)	1	講義 演習	事例展開(目標設定、看護計画立案)		基礎看護学	宮永講師,松井教授,杉森講師,釜谷助教,白藤助手
前	11	6月21日(金)	1	演習	事例展開(看護計画立案)	レポート	基礎看護学	宮永講師,松井教授,杉森講師,釜谷助教,白藤助手
前	12	6月28日(金)	1	演習	看護計画のまとめ(看護介入準備)		基礎看護学	宮永講師
前	13	8月30日(金)	1	演習	看護介入	レポート	基礎看護学	宮永講師,松井教授,杉森講師,釜谷助教,白藤助手
前	14	8月30日(金)	2	演習	看護介入		基礎看護学	宮永講師,松井教授,杉森講師,釜谷助教,白藤助手
前	15	8月30日(金)	3	演習	看護行為の記録、目標達成度の評価、看護計画の修正	レポート	基礎看護学	宮永講師